

## 令和4年度 大阪府立福井高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和4年6月15日 10時30分～11時30分

場所：本校1階校長室

構成員：省略

配付資料：省略

内容：

- 1 校長あいさつ  
本校の近況
- 2 運営協議会委員・事務局員紹介  
勝部 幸氏を会長に全会一致で選出。
- 3 事務局より報告

| 番号 | 報告項目             |
|----|------------------|
| 1  | 学校経営計画及び学校評価について |
| 2  | R5年度の福井高校に向けて    |
| 3  | 39期生の新入生アンケートより  |
| 4  | 広報活動方針について       |
| 5  | 入学者選抜および退学者数について |
| 6  | 進路実績と希望調査        |
| 7  | 生徒指導の状況について      |
| 8  | 部活動加入状況について      |
| 9  | 活動支援部（人権教育）について  |
| 10 | 授業向上PT計画について     |
| 11 | 多文化共生プロジェクトについて  |

#### 4 質疑応答

[本日の感想]

(委員)様々な取り組みをしていることがわかった。中高連携のやり方を模索している。授業の一環として中学校に来ていただくこともできるかもしれない。耳に届くのは顕著な噂のみであり、実際の姿を知る機会を企画できればよいと考えている。

(委員)3年ここに来ている。学校には教育だけだと思っている人もいるかもしれないが、自分は人間形成が重要だと考える。社会に接する前の子どもたちには、高校生のときの自覚が大きく影響するはず。福井高校は子どもが作り上げている学校だと感じる。

(委員)今、2年生になる子の母です。毎日楽しく学校に行っている。苦手な授業もあるが、積極的に通っており、子どもも福井で成長した。

(委員)先生とSSWが窓口で相談に来た。先生たちが積極的に来てくれる学校はそう多くない。心強い。しんどいご家庭があれば何でもさせてもらいたい。気軽に電話してほしい。わからないことは調べるので遠慮なく聞いてほしい。

(委員)1年2ヶ月ほど、総合学科の府立高校で校長をしていた。福井高校で研修の講師をしたこともあり、福井高校に思い入れがある。定員割れの学校は再編整備の対象だが、福井高校をどう残すのかが検討課題。地域とともに支援し、人間形成の学校＝高校であり、それを担う福井高校を大事にしてほしい。また、それを発信していくことをこれからの目標にしてほしい。観点別評価について苦労していると思うが、ダウンサイズした分、生徒と先生の関わりも深まる。中学校訪問の話題も出たが、そういう活動が重要。公教育として福井高校のような高校こそ必要で大切。地域の方々も理解している。進路実現も大切だが、外部にアプローチする企画に若い教員の方々に参加してもらうことがよいのではないかと感じる。

(委員)近隣に住んでいるので、生徒の様子は手に取るようにわかる。非常に楽しそうに明るく下校している。顔つきがいい。30年前に比べ、徐々に落ち着いてきている。今とてもいい状態。ただ、長時間勤務による先生方の健康状態が心配。退学者の数や率も非常に優秀だと思う。自分が教諭時代のことを思うと、昔と違う。授業力向上をずっと続けてくれているのも大事なこと。先生方の孤立を防ぐことができるため、チーム・連携・共通理解がカギ。それを無意識でなく意識的に行うことで、協働という形にもつながる。福井の活動の良さをどう発信していくか、今日のような場で地域の方に前向きに発言してもらえると嬉しい。